



## PART 2

### 製品提供の立場から

ミラポイントジャパン株式会社  
代表取締役社長

山口 一郎 様

汎用システムは、アプリケーションを数多く収容するため、機能を特定のアプリケーション用に最適化することは困難です。また特定のアプリケーションにとっては、汎用システムに組み込まれている機能のすべてが有益とは限りません。さらにシステムが複雑になると、プログラムも複雑となり、必然的にバグが潜在する可能性がきわめて高くなります。

#### ■ ■ ■ ■ ■ メッセージに特化した アプライアンス・サーバ ■ ■ ■ ■ ■

汎用システムでは、導入から稼働までに時間がかかるばかりか、運用管理に多くの手間とコストを費やさなければなりません。いっまでもなくシステムを立ち上げ、稼働させるには、高度に熟練した管理者を確保することが必要です。

しかし組織の中でUNIXやメールシステムについて専門知識を持つ管理者は決して多くいるわけではなく、その確保はますます困難になってきています。システムを作り込んだ管理者がいなくなってしまうと、システムを理解する人は誰もいなくなり、運用管理の上で重要な問題を引き起こしてしまいます。メールシステムが止まって対応ができず、お客様との間のコミュニケーションが途絶えてしまい、ビジネスに影響を与えるという事態も実際に起こっています。

したがって、最小限の管理者だけで対応できるメールシステムを選択することが望めます。さらに導入される前に、システムはすべて完全に設定がなされ、信頼性やパフォーマンスにおいて厳しい水準を満たすために徹底的にテストされていることが必要です。

## 導入と管理が容易な メッセージングサーバの優位性

#### ■ ■ ■ ■ ■ 汎用メッセージングシステムの制約 ■ ■ ■ ■ ■

今日メールシステムは、インターネット環境で最も重要な情報インフラであり、より高い信頼性や生産性が求められています。そのためシステムの資質を評価する上でも、システムの働き的前提となるアーキテクチャーを理解することが重要であるのはいまでもありません。システムの管理全般や安定性、パフォーマンス、メンテナンス、スケーラビリティを決定付けるのが、ハードウェアとソフトウェアのアーキテクチャーであるからです。

これまでメールサーバを構築するには、一般的にUNIXなど汎用OSをベースにした汎用機にsendmailのようなフリーウェアのメールサーバソフトを搭載して、作り込みが行われてきました。このような従来型の汎用システムによるメールサーバが抱える問題点は、異種のハードウェアやソフトウェアを構成することによる非効率性、

信頼性およびセキュリティなどに対する不安だといえます。そのため、信頼性やパフォーマンス、セキュリティの面で要求されるレベルを満たすには、高価で統合されていないシステムを複数配備せざるを得なかったわけです。

汎用システムにおける作り込みでは、サーバのプラットフォームやOS、データベース、ストレージなどいろいろな構成要素を選んで、最適化しチューニングすることが必要になります。メモリはどのくらい必要か、CPUはいくつ必要か、ディスク容量をどうするかなどハードウェアにおける設定だけでなく、ソフトウェアやそのバージョンの最適な組み合わせを検討しなければなりません。しかし考えられる設定は数限りなくあり、すべての設定を完全にテストするのは不可能です。難しい設定上の疑問に対して答えを出すためには、専門的スキルが要求されるのはいまでもありません。

このような汎用システムの制約を克服するために、米国Mirapoint社が開発したのが世界初のインターネット・メッセージングに特化したメッセージ・アプライアンス製品群です。ミラポイント製品を使用することで、メールシステムを容易に構築でき、高度な信頼性を保ちながら容易な管理を可能とすることを基本としています。複雑な操作を軽減したシステムに対して、エンドユーザーがいつでもどこからでも自由にアクセスできるソリューションを提供しようというものです。

ミラポイント製品は、ハード、ソフト、データベースなど必要な要素をあらかじめ最適化し、メールシステムに要求される性能と機能を1台で実現しています。専用ハードウェア上にUNIXをベースとしたメッセージングに特化したMirapoint社開発のオペレーティングシステムMOS( Mirapoint Operating System )を搭載しています。MOSはメールシステムに必要な機能だけを実装し、管理しやすく、アップグレードの負荷も最小限で済みます。あらかじめ管理用のGUI( Graphical User Interface )が用意されているので、メンテナンスや作り込みのための技術者も不要です。

機能が制限されていますので、特定部分だけを設定すれば、そのままメールサーバーとして稼働することができます。SMTP( Simple Mail Transfer Protocol )、POP3( Post Office Protocol )、IMAP4( Internet Message Access Protocol )、HTTP( HyperText Transfer Protocol )、LDAP( Lightweight Directory Access Protocol )などインターネット標準プロトコルに対応するとともに、SSL( Secure Socket Layer )、SSH( Secure SHell )の暗号機能、ウイルスチェック、スパム

メールの排除などのほか、ネットワークのポートは必要以上にアクセスできないように限定するなど、厳重なセキュリティー機能を組み込んでいます。

### ■ ■ ■ 今後はメッセージングのエンジンとして発展 ■ ■ ■

ミラポイント製品は、メールをリレーする機能やアンチウイルス機能、メールストア機能などを1台で備えています。メッセージサーバーを完全にスタンドアロンで使用できるだけでなく、メッセージルーターやディレクトリサーバーと組み合わせると3階層のシステムを構築することもできます。ルーティング、ストレージ、スイッチングの機能の3階層構造により、大規模な要求に応えることが可能です。

お客様が使用する環境においてIMAP4を使用した場合、同時に最大3,500セッションまで1台で管理可能です。広範なメッセージング要求に対するミラポイント製品の優れたパフォーマンスは、様々なベンチマークで実証済みです。

バージョンアップこともなう煩雑な作業は、必要ありません。セキュリティーホールに対応するためにパッチを当てたり、セキュリティー強化の設定をしなくても、コマンド1つでOSのバージョンアップを行うだけでよいのです。バージョンアップは、新しい機能を追加していくためのものです。

ミラポイント製品は、スタンドアロンから中規模、大規模までのシステム構成ができ、ミッドレンジからハイエンドまでの用途をカバーしています。企業以外にも、サービスプロバイダー、データセンター、大学、官公庁などで使

い始めていただいています。e-Japanが進められる中で、地方自治体の導入も増えてくるようになりました。

ミラポイント製品はメールサーバーではなく、メッセージングサーバーという位置付けになります。テキストを主体としたメールだけではなく、FAXや画像データ、音声データなど、いろいろな性質のデータを統合できるユニファイド・メッセージングのエンジンなのです。ワイヤレスやモバイル分野においても、インターネット・メッセージングは重要なアプリケーションです。iモードなど新しい技術も取り込んでいます。

今後発展していくであろうユニファイド・コミュニケーションに関するメッセージに対応できるようにします。すでに海外では、ユニファイド・コミュニケーションをサービスとして提供しており、日本でも企業の中でのコミュニケーションはすべて統合されていくであろうと考えています。



メッセージングアプライアンスサーバー MIRAPOINT「M2500インターネットメッセージサーバー」。ターンキー方式のメッセージ・アプライアンスを提供し、標準化された通信ソフト、最適化されたハード、RAID( Redundant Arrays of Inexpensive Disks )ストレージを統合。メッセージネットワークで最も要求される信頼性を満たしている。